

テーマ：文化や社会のありようとおるべき姿を哲学的・思想的に考える

関連の深いコース：人間文化コース、グローバル・サステナビリティコース、ローカル・サステナビリティコース

1. このテーマを学ぶために

私たちが、文化や社会について考えるうえでさまざまな学問的分野によるアプローチがありますが、そのなかの1つに哲学や思想によるアプローチがあります。このアプローチは、文化や社会がどのようになっているかを把握する側面と文化や社会がどのようであるべきかという理念を提示する側面の2つから構成されます。

現代社会において基本的かつ不可欠だとされている諸概念は、長い思想的伝統のなかで多くの議論により培われてきたものです。諸概念を理解し、理論的枠組みを身につけ、新たな理念を提示するために、哲学・思想系の科目を出発点に古今東西の哲学者・思想家・社会学者などをはじめとする理論家たちとの知的格闘を通じて、1つの物事について自らの知力を振り絞り、「...とは何か」、「...はどうあるべきか」と徹底的に、かつ多面的な観点から討究する姿勢が必要です。この学問モデルは、一見自明とされているような文化や社会の姿を絶えず問い直し続けるため、サステナビリティ・スタディーズの最も基盤をなす分野であると同時に、それに取り組む自分自身への反省と相対化をも迫るものと言えます。

こうした基本的な営みを可能にしてくれるのが、「現代思想と人間Ⅰ・Ⅱ」、「現代社会論Ⅰ」、「西欧近代批判の思想」、「仏教思想」などの科目です。また、こうした理論や理念が実際に文化や社会の具体的な場面においてどのように価値づけ、正当化などのかたちで適用されているかを考察するのが、「現代社会論Ⅱ・Ⅲ」、「環境倫理学Ⅰ・Ⅱ」、「応用倫理学」、「憲法の基礎」などの科目でしょう。

政策を構想・実行するためには理念が必要ですが、理念の提示には、現実がどのようになっているか、〈出来事〉から出発しその相貌の正確な把握が前提となります（「フィールドスタディ（FS）」や「キャリアチャレンジ」、「人間環境セミナー」といった社会連携科目もそのためにあります）。その基礎的知識の涵養のために、法律・政治関連や社会・地域関連など他領域の関連科目も受講しましょう。たとえば、「市民社会と政治」、「環境社会論Ⅰ・Ⅲ」、「労働環境論Ⅰ・Ⅱ」などがその代表例です。

ただし、ある1つの思想は、1人の思想家により単独で生み出されるのではなく、当時の巨大な歴史・社会的な文脈を必ず背景に持ちます。さらに科学技術の発展・進歩は、社会のあり方を変えるだけではなく、人間の認識の枠組みそのものをも根本的に変化させます。一方、たとえ同時代であっても地域や社会のあり方によって認識のあり方は異なります。人間の文化的営為や世界観について、「ヨーロッパ環境史論Ⅰ・Ⅱ」、「日本環境史論Ⅰ・Ⅱ」、「環境人類学Ⅰ・Ⅲ」、「地域協力・統合」といった、歴史学や人類学などの科目により、各時代・各地域による特異性や各時代・各地域に共通する普遍性を理解しましょう。

もちろん、現在に至るまで、人間の営為が社会空間のなかで、文学や芸術などのさまざまな表現形態を通じ、どのように世界を表象してきたか、それらの文化事象の構造を解析し検討することも必要な作業です。「西洋美術史論」、「日本美術史論」、「比較演劇論Ⅰ・Ⅱ」、「日本詩歌の伝統」、「環境表象論Ⅰ・Ⅱ」といった、文学、美術、演劇などの表象文化を対象とした授業はその手がかりにきつとなるはずですが、そして、行政や企業、NPOなどがそれとどのように関わっているか、「文化経営論」で把握することなしには現代ではもはや成り立たないのかもしれない。

以上の科目群でこのようなテーマをこの学部の専門科目だけで体系的に網羅できるかという点、残念ながらそうではありません。したがって、人間環境学部の科目だけではなくて、ILACのリベラルアーツ科目や総合科目、そして文学部、国際文化学部、法学部などの他学部公開科目をうまく利用する必要があります。

さらに、皆さんは、研究にあたり自らの専門地域を設定するわけですが、その地域で用いられている言語を、必修語学以上の高いレベルで運用できなければ資料へのアクセスすらおぼつきません。また、たとえ専門地域が自らの母語を使用する地域であっても、今や自らの研究を発信し他者

の研究を受信していくためには、英語をはじめとする外国語能力は必須となっています。コミュニケーションに関する理解も不可欠でしょう。それゆえ、語学に関しては、**ILAC** や国際文化学部の **語学科目**、コミュニケーション理解については、**「グローバル・コミュニケーション」** を積極的に受講してください。ちなみに、みなさんが英語をもし専門外国語とするのであれば、**「スタディ・アブロード」 (SA)** や **SCOPE 科目** にもぜひチャレンジしてみてください。

2. テーマに関連した推奨科目

「現代思想と人間 I・II」、「環境倫理学 I・II」、「応用倫理学」、「西欧近代批判の思想」、「仏教思想」、「現代社会論 I・III」、「ヨーロッパ環境史論 I・II」、「日本環境史論 I・II」、「地域協力・統合」、「環境人類学 I・III」、「西洋美術史論」、「日本美術史論」、「比較演劇論 I・II」、「日本詩歌の伝統」、「環境表象論 I・II」、「文化経営論」、「市民社会と政治」、「環境社会論 I・II」、「労働環境論 I・II」、「憲法の基礎」、「グローバル・コミュニケーション」、ILAC 科目（語学科目・リベラルアーツ科目・総合科目）、「フィールドスタディ」、「キャリアチャレンジ」、「人間環境セミナー」、SCOPE 科目、「スタディ・アブロード」 (SA)